

歯は口より、 ものを言い!?

小池デンタル
クリニック発



乳歯の生え変わり方

— 個人差があるので参考として —

子どもの口の中で歯がどのように生え変わっていくのかわかりますか? 皆さん大人になる過程で経験してきたはずなのに、覚えていませんよね?

でも、子どもが大きくなっていくにつれて、ちゃんと乳歯から永久歯に生え変わっているのが気になったりするかと思います。そこで乳歯の生え変わり方についてお話ししようと思うのですが、そもそも乳歯っていつでき始めているのかご存知でしょうか?

じつは胎生7週、この段階ですでに作り始められています。生まれる頃には、乳歯の前歯で3/5~5/6、2番目の前歯が2/3~3/5、犬歯が1/3くらい顎の骨の中で



3才



6才



9才



12才

でき上がっています。そして1番手前の前歯が生えてくるのが生後約6ヵ月頃です。その隣の2番目の前歯が7~9ヵ月くらいで生えてきて、その次は3番目の犬歯ではなく、4番目になる次の奥歯が12~14ヵ月で生えてきます。この次に犬歯で16~18ヵ月、最後に5番目になる乳歯の一番奥の歯が20~24ヵ月で生えてきます。生えてきた乳歯が顎の中で完成するのが3才頃です。この3才の段階で永久歯(大人の歯)の頭の部分が顎の中で

かなりでき上がってきているのが図を見るとわかるかと思えます。ですから「生え変わるから乳歯の虫歯は関係ない」ということはなく、乳歯の状態が悪いと、永久歯に悪影響を与える可能性があるののでしっかり治療をしておかないといけません。

永久歯が徐々に大きくなってきて生え変わりが始まるのが6才頃。5番目の乳歯の奥に大きな永久歯の奥歯が生えてきます。この大きな奥歯は6才臼歯(きゅうし)といわれたりもします。ほぼ同時期に下の前歯、上の前歯の順で生え変わりが始まります。

乳歯の生え変わる時期ですが、

1番目の前歯: 6~7才 / 2番目の前歯: 7~8才

3番目の犬歯: 9~12才 / 4番目の奥歯: 9~11才

5番目の奥歯: 10~12才

というのが平均になります。

では9才頃の口の中を見ていきましょう。

前歯は上下とも永久歯が多く、犬歯から6才臼歯(きゅうし)の手前までの3本は乳歯であることが多い年頃です。

そして12~13才になると永久歯だけに生え変わってしまう子が多くなります。そして、親知らずと呼ばれる歯が生えてくるのが17~21才頃ですが、ちゃんと生えてこないことが多く、歯医者で抜いてもらう場合が多いと思えます。

生え変わりは、このような感じで進みますが、子どもの成長には個人差があるので絶対この通りってわけでは

ありません。けれど指標として知っておくと、お子さんの口の中の成長を安心して見ていけるのではないのでしょうか。

そして先にも述べましたが、乳歯の病気は永久歯に悪影響を与える可能性があります。

乳歯の段階で悪い歯はしっかり治療し、正しくメンテナンスすることで健康な永久歯が生えてくるように心がけてあげましょう!

※イラストは「デンタルフラッシュ3
(株)Cyber デジタル」より引用

院長 小池秀行

歯学博士 日本補綴歯科学会専門医

※歯が欠けたり失われたりした場合に、かぶせ物、差し歯、ブリッジ、入れ歯(義歯)、インプラントなどの人工物で補い、機能・審美を回復することを専門とし、学会で認められた歯科医師です。

社団法人日本補綴歯科学会 <http://www.hotetsu.com/p1.html>